

業務部速報

No. 66

発行 14. 5. 29

JR東労組 業務部

申11号

2013年政策フォーラム提言実現に向けた申し入れ

第1回目交渉を行う!

第1項 大湊線営業所における管理業務以外の全ての業務を担う運転士を育成し、効率的な業務運営を行うこと!

会社

○組合の提言は将来的に検討の余地はあるものの、現時点では課題が多いため、前回のダイヤ改正にて、乗務員を八戸運輸区へ、営業所を駅に変更した。

○営業所は、地方ローカル線の収支改善として、運行、営業、メンテナンスを一元管理とするために発足した。今後のあり方は、エリアで異なるため地方で議論していく。

「地方ローカル線のあり方について検討している」ことを認めつつ、「一方的な実施はせずに組合員・地域の方々へ段階的に対応していく」と回答

提言は、働く職場を残すため、組合員の苦渋の選択であり、重く受け止めるべき内容である事を主張!

地方支社の議論は、路線のあり方だけでなく雇用の問題。前広に将来像を示すことを要請!

第2項 労使間の議論経過・確認事項を踏まえ、委託駅従事者はエルダー社員を基本とすること!安易な若年出向を行わないこと!

会社

○駅業務委託の前提は「エルダー社員の雇用の場の確保」ということには変わりはない。同時に、将来的に委託駅を運営していくためにプロパー社員の育成もおこなっていく必要がある。

○今後10年間で約5700名(営業職のみ)が退職する。かなりの数の雇用の場の確保を、スピード感を持ってやっていかなければならない。

○出向は、指導、人材育成、安全レベルの維持の観点があり、委託した駅がレベルを落とさず運営するためにおこなう。

**委託規模等の将来像を問うも具体的な話はせず!
これでは組合員の不安は深まるだけだ!**

**ライフサイクル(駅→車掌→運転士)を担っている組合員が委託のための出向を担うことは基本的にはないことを確認!
もし、ライフサイクル(駅→車掌→運転士)の途中で出向した場合も「試験等に不利なことはない」ことを確認!**

**東京駅の業務委託による50名規模の出向の提案があり、現場は混乱している。
これだけの数の出向を想定した労使議論はしていない。
一旦立ち止まり将来展望を含めた議論していくことを要請!**

提言実現に向けて、2回目の交渉を6月2日におこないます!